

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 7日

大分県知事

佐藤 樹一郎 殿



提出者

住 所 大分県別府市大字鶴見3898番地

氏 名 国家公務員共済組合連合会

新別府病院長 泊 一 秀

電話番号 0977-22-0391

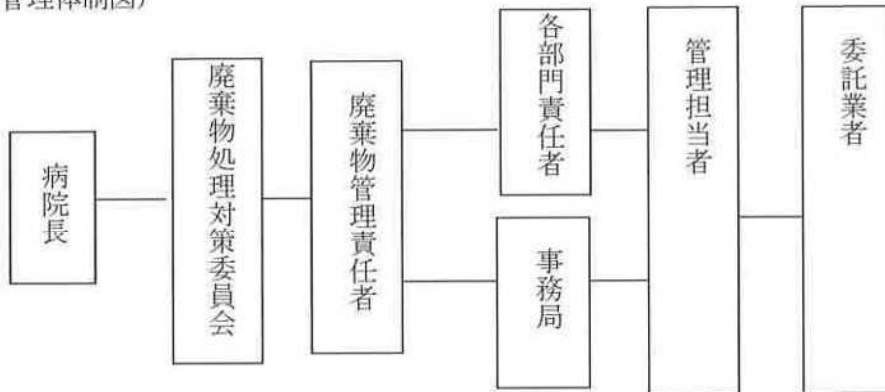
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	国家公務員共済組合連合会 新別府病院
事業場の所在地	大分県別府市大字鶴見3898番地
計画期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	医療業
②事業の規模	269床
③従業員数	494人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	院内で発生→清掃委託業者が廃棄物保管庫に運搬→収集運搬委託業者が回収し処分場に運搬→処分場で焼却→最終処分場埋立。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	4. 2 6 0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・医療廃棄物処理対策委員会を中心に産業廃棄物の削減について検討		
② 計画	【目標】令和5年度排出量の維持		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	4. 2 6 0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・医療廃棄物処理対策委員会を中心に上記の取組を行う。 ・職員に産業廃棄物の年間排出量、年間処分費等を示し見える化することで、職員にコスト意識を持たせる。 ・リサイクルできる製品の購入を検討する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全 処 理 委 託 量	4.260 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	4.260 t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・優良産廃処理業者認定制度を参考にした業者選定。 ・年1回実施している処理委託業者の処理工場の見学、最終処分場の確認を実施。		

② 計画	【目標】 5 年度排出量の維持		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全 処 理 委 託 量	4.260 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	4.260 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) リサイクル等できる業者との契約を推進していく。		
※事務処理欄			